

<p>第 2 8 7 回 都 市 懇 サ ロ ン レ ポ ー ト</p>	<p>『地域の未来をデザインする！6次産業による課題解決セミナー』</p>		
<p>講 師</p>	<p>一般社団法人日本地域イノベーション研究機構 代表理事 藤澤 直武さん</p>	<p>開 催 日</p>	<p>2025年2月12日(水) 18:00 ~ 20:00</p>
<p>講 師 プ ロ フ ァ イ ル</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1970年生まれ 中小企業診断士</li> <li>●2019年から国家戦略プロフェッショナル検定・食の6次産業化プロデューサー認定対応講座を企画運営。(現在全国の修了生グループ約100名とともに地域課題解決に取り組んでいる)</li> <li>●2022年若年層の起業家教育協力事業者に認定。(中小企業庁)</li> <li>●2023年から全国各地域のワーケーションに参加し、地域課題の解決を支援。</li> <li>●2024年から農山漁村発イノベーション中央サポートセンター・エグゼクティブプランナーを担う。</li> </ul>		 <p>(一社)日本地域イノベーション研究機構 藤澤 直武 氏</p>
<p>お 話 の 概 要</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自己紹介</li> <li>2. 6次産業とは <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内の食物の流れにおける生産者の利益確保 (⇒6次産業の始点)</li> <li>・食を支える人は高齢女性が多く、農地は減少している現状 (⇒活躍の場の創出)</li> <li>・「限界集落」という言葉は良くない (⇒「小規模・高齢化集落」という表現に)</li> <li>・日本のフードチェーンのなかで農林水産業はサプライヤーになりがち</li> <li>・1次産業従事者の2次産業(加工)、3次産業(流通・販売)への関わり (⇒6次産業)</li> </ul> </li> <li>3. 6次産業の現状と課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・6次産業は加工品づくりが多い</li> <li>・農産物などの地域資源を活用し地域課題の解決に繋げることが本来の目的(単に商品化(ものづくり)に終わる例も多い)</li> <li>・マーケティングの定義(考え方)の移り変わり(作り手中心⇒買い手⇒社会への適合)</li> <li>・課題(⇒一般に「製品のブランド化」で「地域のブランド化」に至っていない)</li> <li>・解決策(⇒「人が変わる」、「食を起点として広い視点で地域での効果を考える」)</li> </ul> </li> <li>4. 6次産業の事例紹介(いずれの事例も商品化を最終目的としていない) <ul style="list-style-type: none"> <li>・牡蠣殻を活用したクライミングチョーク(岡山県)</li> <li>・食用菊「かきのもと」を活用した事業(新潟県)</li> <li>・地域の珍しい柑橘を活用したコスメ商品の展開(山口県・俵山温泉)</li> <li>・レモンの観光農園とトレックルートを融合(広島県・高根島)</li> <li>・地域ブランド構築の基本構図(傘ブランドとしての地域)</li> </ul> </li> <li>5. 地域資源の洗い出し <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源を活用したコンテンツづくり(コンテンツボリューム決定⇒地域資源の掘り起こし⇒要素評価⇒可能性検証)</li> </ul> </li> <li>6. 地域で活躍いただくための6次産業(イノベーション)について <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続的農山漁村の発展には「価値を創造する」イノベーション・マーケティングの視点が不可欠</li> <li>・成功事例を自分たちでつくる意識(目的の明確化)</li> </ul> </li> </ol>		
<p>意 見 交 換</p>	<p>参加者の質問等に対する講師の解説や意見交換を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクト参加者の属性について ⇒移住者が多い／関わり方は地域性に合わせる</li> <li>・日本地域イノベーション研究機構への話の持ち込まれ方について ⇒事案によって異なる(公的機関、口コミ)</li> <li>・プロジェクトに必要な期間、モチベーションの持続について ⇒中長期的視点でなるべく早く行動が必要(人事異動等への対処)／成功例はモチベーション変わらない人が多い</li> <li>・6次産業の方向性について ⇒農泊を広げる方向にある／体験要素(民泊と異なる点)</li> </ul>		
<p>記 録 者 の ひ と こ と</p>	<p>農山漁村における活性化(課題解決)に向けて、各地で繰り広げられている取り組みを知ることができ興味深かった。単なる地産品の開発が目的ではなく、持続的な活性化につなげることは容易でない、との印象を持った。</p> <p style="text-align: right;">《都市懇サロン運営部会 委員 今井 重行》</p>		